



みつぎっ子

学校教育目標

「やさしく かしく たくましく」

〒400-0048 山梨県甲府市貢川本町8-1 TEL (055) 222-2408 FAX (055) 222-2407 文責：校長 伊東

「通常」&「分割」授業を選択しました

あんしんメールでもお知らせした通り、山梨県知事より、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づいた「分割・分散登校等の臨時特別協力要請」が再延長されました。

この要請を受け、甲府市においては、各学校の学年・学級児童数、教職員数、教室数に応じて、通常授業・分割授業・分散登校の何れかを学校ごとに選択することとなりました。

もちろん、「通常授業」を実施できればそれにこしたことはありませんが、その場合は、ひとクラスあたりの人数を、およそ20人前後に絞らなければなりません。かと言って「分散登校」を継続し、これ以上、保護者の皆様に負担をおかけするわけにはいきません。そうすると答えは一つしかありません。「分割授業」です。

まずは、「1年生」と「5年生」が「通常授業」の実施を可能と判断し、残りの「2・3・4・6年生」の「分割授業」が可能であるかを検討しました。分割授業を実施するには、前述の学年全てを3クラスずつに分けなければなりません。そうすると、全校で4クラス増えることとなります。本校では、すでに放課後児童クラブに空き教室をひとつお貸ししているのですが、それ以外に「4教室」準備しなければなりません。さらに、この「分割授業」は、「オンラインによるサテライト型授業」を実施することが条件となっていましたので、その機材も準備しなければなりません。先生方は、階段を使って大型ディスプレイを上層階に運びました。実際にオンラインにつなげ、回線のテストを全員で行いました。その日の午後に行われた臨時校長会での指示を受けてからの方針決定と準備ということで、夜遅くまで作業は続きましたが、「全ては、子どもたちのために！」この合い言葉を胸に、先生方は皆で協力し合い、準備を進めてくれました。いずれにしても、本校にとっては、一度に12クラスがオンラインでサテライト型授業を実施するのは初めての経験でしたので、トラブルに対しては、その都度対応し、改善を図っていくこととしました。

「分割授業」についての説明です

2月21日(月)、久しぶりに全校児童が学校に揃いました。分割授業となる学年の子どもたちは、担任からグループ分けを知らされ、指示された教室に移動しました。今週は、全員登校はしてきますが、3グループに分かれての授業です。感染予防が目的ですので、休み時間も給食の時間も、グループ間で子どもたちの接触がないようにしなければなりません。掃除も、教室だけに限定し、その他必要な箇所については、先生方が放課後に行います。

さて、「分割授業」ですが、簡単に説明していきましょう。




対象学年は、2つのクラスから3つのクラスに編成し直します。例えば、A・B・Cグループです。Cグループは、自分の机と椅子を持って、準備された教室に移動します。初日は、Aグループの担任が授業を行い、BグループとCグループは、その様子をLIVE配信される映像を見ながら授業を進めます。BグループとCグループにも教師が一人つき、授業者と同じように板書を行い、子どもたちの質問にも答えられるよう机間巡視をしています。毎日、同じ先生が授業を行ったり、いつも同じグループで授業を行ったり……といったことはありません。全ての子どもたちが公平に授業を受けられるよう配慮をしていますのでご安心ください。

オンラインによるサテライト型授業の1日目でしたが、途中、映像が若干乱れることもありましたが、音声はクリアに聞こえ、授業に直接差し支えることはありませんでした。



分割授業の実際の様子です

それでは、「分割授業」第1日目の様子をお伝えしましょう。

- ◆4年生です。今日は、中山先生がAグループの教室で社会科の授業をしています。ネット回線を使ったオンライン授業(サテライト型)です。回線上は双方向ではなく、一方通行の授業となりますが、それぞれのクラスでは、意見交換や質疑応答をすることができます。

	Aグループは4年1組の教室で授業を受けます。中山先生の教卓の上には、一台の端末が置いてあります。この端末のカメラによって、中山先生本人と黒板の様子を、リアルタイムにBグループとCグループに配信します。
	Bグループは、Aグループで行っている映像を、大型モニターを使って視聴しながら、4年2組の教室で授業を進めます。教室には、杉本先生がいて、Aグループの授業に合わせ、黒板に大事なポイントを書いています。Bグループ内で質問があれば、杉本先生が対応します。
	Cグループは、Aグループで行っている映像を、大型モニターを使って視聴しながら、理科室で授業を進めます。教室には、榛原先生がいて、Aグループの授業に合わせ、黒板に大事なポイントを書いています。Cグループ内で質問があれば、榛原先生が対応します。

- ◆6年生です。今日は、森先生がAグループの教室で算数科の授業をしています。ネット回線の逼迫による全校への影響を少しでも減らすため、6年生はネット回線は使用せず、2台のビデオカメラを使って有線で授業の様子を配信しています。リモート視聴を実施した運動会や授業参観の経験が生かされています。

	Aグループは6年1組の教室で授業を受けます。森先生の前には、ビデオカメラが2台、設置してあります。 『2台のビデオカメラが目の前にあると、緊張します。』と森先生。
撮影するのを 忘れました(汗)	Bグループは、Aグループで行っている映像を、大型モニターを使って視聴しながら、6年1組の教室で授業を進めます。教室には、小笠原教務主任が応援に来てくださっています。質問があれば、優しく何でも答えてくれます。
	Cグループは、Aグループで行っている映像を、大型モニターを使って視聴しながら、児童会室で授業を進めます。教室には、饗場先生がいて、Aグループの授業に合わせ、黒板に大事なポイントを書いています。もちろん、Cグループ内で質問があれば、饗場先生が対応します。

2年生と3年生も、学年を3クラスに分け、サテライト型オンライン授業を行いました。1年生と5年生は、グループ分けすることなく、通常授業を行いました。